

【開催報告】JMAM×鳥取・鹿野のNPO、企業と地域が共創する越境学習※1

「こところば※2」最終報告会を実施

～「空き家×未利用材」の活用へ、大手企業の次世代リーダーが挑んだ4ヶ月～
最終報告会【2025 年 12 月 23 日（火）10:00～12:00 場所：しかの心（鳥取市鹿野町）】

株式会社日本能率協会マネジメントセンター（代表取締役社長：張 士洛、以下 JMAM）と特定非営利活動法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会（代表：佐々木千代子、以下 まち協）は、地域課題解決型越境学習プログラム「こところば@鳥取・鹿野」を実施しました。本年9月から4か月間にわたり、多様な業種の企業人材と地域事業者が協働し、全国的な課題である「空き家問題」に取り組みました。つきましては、その成果を発表する最終報告会についてご報告いたします。

1. 背景：企業人材育成と地域課題解決の両立

JMAM が展開する「越境学習」と、鹿野町で先進的なまちづくりを行う「まち協」が連携。企業の次世代リーダー候補が、普段の組織を離れ（越境）、地域のリアルな課題解決（空き家と未利用材の活用）に挑むプログラムです。参加者にとっては「組織の枠を超えたビジネスセンス」を磨く機会となり、地域にとっては「実効性のあるアイデアの獲得」および「関係人口の創出」につながる、双方にメリットのあるモデル（Win-Win）を目指しています。

2. 特徴：ケーススタディではない「社会実装」への挑戦

本プログラム最大の特徴は、机上の空論（ケーススタディ）ではなく、実際の社会課題を扱う点です。

①多様なチーム編成：業種・業界の異なる企業メンバーが2チームに分かれ、化学反応を起こしながらミッションに挑戦。

②実践的なプロセス：課題設定、現地調査、実証実験（PoC）までを4か月で実施。

③成長支援：アセスメントによる自己理解やメンターの伴走、地域・専門家からのフィードバック体制を完備。

3. 成果と展望

今回の最終報告会で行われる提案は、単なるアイデア発表にとどまらず、鹿野まち協の新規事業として「社会実装」される可能性を含んでいます。これからのリーダーに不可欠な「社会課題起点でのビジネス推進力」や「多様なステークホルダーとの共創力」を育む場として、今後も展開を強化してまいります。

※1 越境学習（越境ラーニング）

所属する組織や業界の枠を超え、社外（アウエー）での協働実践を通じて得た学びを、自組織へ還流させる学習手法のこと。JMAM では、地域ならではの課題や資源をフィールドとした学びが実現できるよう、全国の自治体や地域企業と連携してプログラム開発を行っています。

※2 地域課題解決型越境学習サービス（こところば）

JMAM が提供する、地域課題解決をテーマとした越境学習サービス。多種多様な業種・職種の人材でチームを組み、地域住民や関係者との対話・交渉を経て、プロジェクトを実行します。「協働経営者」の視点で取り組むことにより、社会課題を起点としてビジネスを推進する実践的な経験を提供します。

<プログラム内容>

- ・地域の現場フィールドワーク、地域関係者や課題当事者との対話
- ・チーム活動の実践とフィードバック（ディスカッションやチャットワーク等）
- ・プログラムを通じた自己のビジネススキルやセンス向上を支援するワークショップ



<開催スケジュール詳細>

日 時：2025年9月16日～2025年12月23日（4か月間）
場 所：鳥取市鹿野町

<現地開催日程>

Session1：10月27～29日
Session2：11月25～27日
Session3：12月22～23日

<12月23日 最終報告会について>

- これまでの2チーム各自の最終成果報告として、まち協及び関係者の皆様にお聞きいただきます。
日時：2025年12月23日（金） 10:00～ ＊発表20分・質疑30分 計50分/チーム x 2チーム
場所：しかの心 鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1809-1
発表内容：4か月間の鹿野町における2つの大きな社会課題から導き出した施策提案
公開形式：一般公開（現地会場）

<取材にあたって>

期間中取材（視聴）いただける際には大変お手数ですが、【貴社名／貴媒体・部署名／ご芳名／ご連絡先（TEL・メールアドレス）】を下記問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。

【連絡先】

(株)日本能率協会マネジメントセンター ことらぼ運営事務局 担当：瀧上
Tel：070-7499-1207 / e-mail: kohei_fuchigami@jmam.co.jp
NPO 法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 担当：向井 小林
TEL: 0857-84-1188 Mail: info.m@shikano.org